

計画・交通研究会

Association for Planning and Transportation Studies

会報 2001-05

発行日：平成 13 年 5 月 11 日
発行元：計画・交通研究会
〒 102-0083
東京都千代田区麹町 5-2-1 K-WING 6F
TEL=03-3265-1774 FAX=03-3221-5489
E-mail = easts@sa2.so-net.ne.jp
Homepage = <http://www06.u-page.so-net.ne.jp/sa2/easts/>

目次

Opinion	1-2
地方の自立的都市計画へ向けて	
News Letters	2-4
事業報告・活動報告	
Publication/Documents	4-8
刊行物・文献資料	
Announcement	9
研究会・催事の御案内	
Backyard	10
事務局通信	

Opinion

地方の自立的都市計画へ向けて

北村眞一

甲府市は2000年11月に特例市の指定を受け、県内市町村のリーダーとして新しい一歩を踏み出すという決意表明をした。この指定によって都市計画に関わる権限のいくつかは山梨県から甲府市に委譲された。甲府市の人口は戦後一貫して増加し、1985年で20万人を越えた時点で横這いに転じ、2000年の国勢調査では19万6千人に減少した。特例市の条件は人口20万人以上であることから、滑り込みで指定を受けた翌年の国勢調査で20万人を割り込んだことはショックである。そして周辺5町は人口が増加していることから、甲府市はこの傾向に歯止めをかける方策が緊急課題となる。

1968年の都市計画法改正で線引き制度が施行されて以来、地方での調整区域の開発要請に対して、規制の緩和など制度の補完がなされてきた。今回の2000年の都市計画法改正において、白地地域の建坪率・容積率規制、線引きの存廃の権限が大都市圏以外では国から県に移ったことは一つの転換点であろう。

この2001年3月、甲府市が都市計画マスタープランを策定した。このプランの基本課題が「線引き撤廃」となっている。その最大の理由は人口定着すなわち人口減少問題を挙げている。

線引き撤廃をした都市計画区域がある。かつて都城市と周辺4町の広域都市計画区域では

1970年に初線引きがなされ、1988年に線引き撤廃をした。その理由は線引き後にその効果として当然起こる都市計画区域内の市街化区域と市街化調整区域との人口格差である。調整区域面積が広い周辺の町は過疎化が進み、町の発展が阻害されたが、それが撤廃運動へと結びついた。

甲府市の場合は、都城市と違い中核となる市街化区域を持つ都市の人口減少を理由としている。甲府都市計画区域は甲府市と周辺5町からなる。甲府市の人口減少と周辺部の人口増加現象の理由は、甲府市では宅地開発の余地がなくなり、周辺5町の開発余地で宅地増を吸収した、また調整区域を越えて隣接する2町の白地地域へ宅地開発が進んだのが原因としている。そこで調整区域を撤廃して、土地開発をして人口を増やしたいという。行政が人口増に執着することは理解できるが、人口定着だけが目的であれば市街化調整区域の基盤整備地区の漸次編入という対策もありうる。

しかしこの背景には、調整区域内住民、行政、政治の各々からの理由がある。現在の都市計画区域と調整区域のゾーニングの問題、地方分権、税収減、土地区画整理事業経営の困難（地価の下落）、自治体による整備開発への不振、地域間格差の不公平感、農業経営不振などであ

る。一方、市街化区域でさえ土地区画整理事業は遅れ、道路整備も遅れ、延々と下水道を整備してきてようやく80%に達した状況である。線引きを撤廃したら、ますます無秩序な街が拡散することは確実である。周辺に広がる白地地域に散在する農村集落を見ると、農振地域以外

の土地にどんな用途で開発されるかは予測できない。

こうした時代と地域の渦潮のなかで、地方における都市計画は自立的に見直し、転換・充実をはかる英断が望まれる。

(山梨大学 教授)

News Letters

事業報告・活動報告

理事会・総会・研究発表会・懇親会報告

【 】理事会

日時：平成13年4月24日(火) 16:00-17:00

場所：プラザエフ(主婦会館)8階 パンジー

出席者数 17名、委任状数7 計24(理事総数28)にて成立

議長：中村会長 司会：石田事務局長

議事

第23回通常総会議案の審議

第1号議案 平成12年度事業報告および収支決算に関する件。

事業報告の会員状況を訂正し可決。

第2号議案 平成13年度事業計画および収支予算に関する件。

第3号議案 事務局長退任に伴う理事の補充選任

以上は原案通り可決

第4号議案 規約改定については事務局長補佐を事務局次長に名称変更して可決

以上の詳細は同封の第23回通常総会議案書参照

会員の入・退会の承認

原案に個人会員として日本大学助手 小山茂氏を追加して可決

幹事の新任・退任の承認

原案通り可決

第23回総会にて3号議案 理事の補充、4号議案 規約改定 が可決されることを前提に、総会に先行して以下を可決。

第2回理事会

事務局長の互選として窪田陽一理事(埼玉大学教授)を選任

事務局次長の任命としては福田敦幹事(日本大学助教授)を任命

【 】第23回通常総会

日時：平成13年4月24日(火) 17:00-18:00

場所：プラザエフ(主婦会館)8階 すいせん

出席者数：法人会員10、フェロー・個人会員31、委任状数45 計86(正会員総数104)にて成立

議長：中村会長 司会：石田事務局長

議事

第1号議案 平成12年度事業報告および収支決算に関する件。

会員状況数を訂正して可決

第2号議案 平成13年度事業計画および収支予算に関する件。

第3号議案 事務局長退任に伴う理事の補充選任
2、3号議案は原案通り可決

第4号議案 規約改定

名称;事務局長補佐を事務局次長に修正して可決
その他事項では、会の活性化についての意見として、近隣の視察会「品川駅改築工事現場見学会」の実施また身近な問題への改善提案、小田急線の地下化・井の頭線の急行運行など鉄道会社の説明会の実施など意見が出された。

議事内容の詳細は同封の議案書をご参照ください。

【 】研究発表会

日時：平成13年4月24日(火) 18:00-18:30

場所：プラザエフ(主婦会館)

プラザエフ(主婦会館)8階 すいせん
テーマ：「都市圏交通計画における非営利組織の役割に関する研究(当会助成研究)」

発表者：東京商船大学 助教授 兵藤 哲朗
先生

発表概要

ここ数年、海外の事例を参考にした、全国各地の都市マスタープランにおける市民参加、道路計画にかかわる合意形成、パブリックインボルブメント等が研究され、実施されているが、地域に十分根付いているとは言い難い状況にある。一方、地域の実情を反映したまちづくりに対する要請等から、非営利・非政府で市民の自発的な意思に基づき公益活動を行う市民活動団体である、非営利組織(NPO: Non-profit Organization)のまちづくりや交通計画におけるあり方、役割が注目されつつある。特定非営利活動促進法の成立(1998.3.19)に伴い、今後ますますこのような、行政に属さない非営利組織による活動が活発化していくものと考えられる。従って、実際の計画事例が積み重ねられ概念の整理が進むことにより、交通計画におい



兵藤哲朗 先生

て、市民との関わりも含めた多様な計画立案へのアプローチの可能性が高まっていくことが期待される。

本発表会では、研究会の平成11年度の助成による、「計画・交通研究会NPO研究グループ」メンバー7名の成果を簡単に紹介した。内容は、報告書に準じている。まず、NPOに関する一般的背景を整理すると共に、後段のヒアリングなどの整理項目となる事柄について紹介した(第2章)。次に、交通計画に限らず、わが国のNPO活動、およびNPOに準じる活動主体への幅広いヒアリングを実施し、各事例についてその特徴をまとめた結果を紹介した(第3章)。対象は交通から街づくり、そして河川や福祉にも及ぶ。特に、設立間もない足利市の街づくりNPOの主要構成員である研究メンバーによる、自身の経験を踏まえたNPOの問題について詳細に取り上げた。一方、海外においては交通計画に関わるNPO活動も活発であるため、イギリス、バンコク、アメリカの例を取り上げ、わが国のこれからの交通計画NPOへの示唆を得ることを目的に、その特徴を整理し、紹介した(第4章)。最後に、これまでの議論や分析から浮かび上がってきた、都市圏交通計画に関わるNPOの問題点や、これからのあり方について論点をまとめ、簡単な考察を提示した。

わが国ではNPO活動自体、未だ暗中模索の段階にあると見なせる。ましてやそれに都市圏交通計画という網をかぶせると、臆気な姿しか見いだせないかも知れない。しかし海外の例で紹介したように、世界的には都市圏交通計画にNPOが関わる役割は決して小さくはないし、NPOが現在の交通計画の課題克服に資する重要な主体であることは間違いないであろう。これからのわが国の都市圏交通計画に関わるNPO活動のあり方を考える上で、本研究活動性成果が若干のヒントとして寄与できれば幸いである。

【 】懇親パーティー

日時：18：30 - 20：00

：プラザエフ（主婦会館）7階 カトレア

石田前事務局長の司会・進行で、中村会長の挨拶、黒川副会長発声による乾杯に始まり、会員相互の交流と親睦がはかられた。また、その間に、稲村理事（東北大教授）によるWCTRソウル大会、石田前事務局長（筑波大教授）によるEASTSハノイ大会のご案内や、窪田新事務局長（埼玉大学教授）、福田新事務局次長（日本大学助教授）、小浪先生（東洋大学教授）、長屋社長（アルゴ都市設計）の挨拶・最近のトピックス等が話され、篠原理事（東京大学教授）の中締めで、流れ解散となった。



中村 会長

Publication / Documents

刊行物・文献資料

所蔵文献資料紹介

本会事務局で所蔵している文献資料を順次ご紹介します。ご希望により内容目次のコピーをお送りしますので、電話・FAX・電子メールのいずれかにより、「資料番号・目次コピーの送付先・送付方法（FAX又は郵送）」を事務局までお知らせ下さい。また、事務局へお越しただければ閲覧・貸出することが出来ます。

なお、今回の資料は平成13年4月24日 研究発表会にて配布したもので若干の在庫があります。希望者はお申込ください。先着順に無料配布いたします。

資料番号、資料名、発行元、発行年月

1001 都市圏交通計画における非営利組織（NPO）の役割に関する研究 計画・交通研究会・NPO
研究グループ 平成13年3月

2000（平成12）年度学位取得論文

個人会員が指導教官となった博士論文、修士論文、卒業論文を紹介します。

大学／大学院名・学科／専攻名・研究室名（指導教官名）＜大学名五十音順＞

論文著書名／論文表題／取得年月日／区分／レベル（＝基礎的、＝改良後実務応用可能、
＝実務応用可能）

茨城大学・大学院理工学研究科・都市システム工学専攻・景観・空間設計研究室

崔／地理情報システムとリモートセンシングを利用した地域自然環境の分析に関する研究／平成13年3月23日／博士／I

橋本大輔／スキースタイルに着目したスキー場リニューアル計画の提案／平成13年3月23日／
修士／II

大西 進 / 市民意識からみた路面電車の存在価値平成 13 年 3 月 23 日 / 修士 / I
澤田 望 / 色弱者に配慮した色彩環境整備 / 平成 13 年 3 月 23 日 / 修士 / II
片寄卓也 / 衛星リモートセンシングデータを用いた水深計測 / 平成 13 年 3 月 23 日 / 修士 / I
齋藤洋二 / 茨城県北部を対象とした数値地理情報の作成法と自然環境の解析 / 平成 13 年 3 月 23 日 / 修士 / I
九州大学大学院・工学研究科・都市環境システム工学専攻・交通システム工学研究室
須賀正志 / 街路における高齢者の歩行特性に関する研究 / 平成 13 年 3 月 26 日 / 修士 / I
竹田欣弘 / 歩車混合細街路における歩行空間の安全性に関する研究 / 平成 13 年 3 月 26 日 / 修士 / I
田中正和 / 歩道縁石通過時の車椅子の衝撃緩和及び評価に関する研究 / 平成 13 年 3 月 26 日 / 修士 / I
中村 哲 / 鉄道急曲線部走行時における台車蛇行動に関する研究 / 平成 13 年 3 月 26 日 / 修士 / I
永原一明 / 輪軸と軌道の相互作用が及ぼす軌道への影響に関する研究 / 平成 13 年 3 月 26 日 / 修士 / I
松崎成伸 / 帰宅時間を考慮した通勤交通手段の選択行動に関する研究 / 平成 13 年 3 月 26 日 / 修士 / I
森野伸崇 / 勾配区分における指向性を考慮した大型車の発進騒音予測 / 平成 13 年 3 月 26 日 / 修士 / I
埼玉大学大学院・工学部・建設工学科・久保田・坂本研究室
臺 敦 / 交通シミュレーションを用いた大規模施設の交通アセスメント / 平成 13 年 3 月 31 日 / 修士 / III
鈴木尚樹 / tiss-NET を用いたバス優先策総合評価システムの開発 / 平成 13 年 3 月 31 日 / 修士 / III
梶谷晋士 / ITS による駐車場利用の適正化に関するシミュレーション分析 / 平成 13 年 3 月 31 日 / 修士 / II
筑波大学大学院・社会工学研究科・都市交通研究室
Cresencio Montalbo Jr. / Development of Transportation Gap and Model Advantage Area Modeling for Policy Evaluation in Southeast Asian Countries / 平成 13 年 3 月 / 博士 / I
筑波大学大学院・社会工学研究科・都市交通研究室
中村哲也 / つくばセンター地区における駐車場利用と周辺交通の実態分析 / 平成 13 年 3 月 / 修士 / I
筑波大学大学院・経営・政策科学研究科・都市交通研究室
Diego Fernando Tanaka Lozano / Uncertainty of Traffic Forecasting in Toll Road Concession Projects in Colombia / 平成 13 年 3 月 / 修士 / I
筑波大学大学院・環境科学研究科・都市交通研究室
SOUVANLASY Chansada / 発進・加速挙動が自動車排ガス量に与える影響分析 / 平成 13 年 3 月 / 修士 / I
東京大学大学院・工学系研究科・社会基盤工学専攻・建設マネジメント / 開発システム研究室
Bui Trong Cau / A Decision-making Methodology of Preliminary Decision Alternatives for Construction Projects / 平成 12 年 9 月 / 博士 / III
Reginald John-Walter Macdonald / An Inquiry into the Evolution and Organization of Privately Financed Infrastructure in the People's Republic of China / 平成 12 年 9 月 / 博士 / II
宋虎斌 / 建設災害防止における発注者の責任と役割 / 平成 12 年 9 月 / 修士 / I
橋都秀爾 / 社会基盤整備が発展途上国農村の家計の貧困削減に与える影響の分析 / 平成 13 年 3 月 / 修士 / II
神野由紀 / 政策決定における意思形成過程情報の役割と公開基準に関する一考察 / 平成 13 年 3 月 / 修士 / I
鈴木直文 / わが国のスポーツ環境改善を目指した公共施設の評価 / 平成 13 年 3 月 / 修士 / I

木村耕平 / 日本の水道事業における PFI 型調達方式の導入に関する研究 / 平成 13 年 3 月 / 修士 / II
藤本英樹 / 公共インフラ整備の使用段階の瑕疵に対する当事者責任 / 平成 13 年 3 月 / 修士 / I
翁 佳 / オープンビルディングシステムの環境側面の評価に関する研究 / 平成 13 年 3 月 / 修士 / I
劉建宏 / Study on Negotiation Strategy for Public Private Partnership Infrastructure Projects - A case on Taiwan High Speed Rail Project / 平成 13 年 3 月 / 修士 / I

小島昌希 / 政治セクターの行動原理を考慮した公共投資の地域間配分政策に関する実証分析 / 平成 13 年 3 月 / 学士 / II

大辻俊博 / エンドユーザーの顧客者間における役割の変化に着目した建設企業の技術開発戦略に関する考察 / 平成 13 年 3 月 / 学士 / I

柳沢宏之 / 都市部における一般廃棄物処理事業経費の構成要因に関する研究 / 平成 13 年 3 月 / 学士 / I

石原良宏 / 道路マーケティング / 平成 13 年 3 月 / 学士 / I

太田喜美恵 / 国際援助における社会開発の動向と日本の ODA に与える影響 / 平成 13 年 3 月 / 学士 / I

東京大学大学院・工学系研究科・社会基盤工学専攻・景観研究室

有賀圭司 / 近代東京の物流網の形成 - 明治大正期を対象として - / 平成 13 年 3 月 29 日 / 修士 / I

菊池優子 / 商店街の人情味に関する考察 - 歩行と対話に着目して - / 平成 13 年 3 月 29 日 / 修士 / I

崎谷浩一郎 / 曲線斜め堰の設計原理 / 平成 13 年 3 月 29 日 / 修士 / I

田中宏幸 / CVM による景観デザイン価値評価の有効性 / 平成 13 年 3 月 29 日 / 修士 / I

日高直俊 / 首都圏における飛行場と都市計画 / 平成 13 年 3 月 29 日 / 修士 / I

久富文彰 / ステーションホテルの成立と展開 - 日本とイギリスの比較 - / 平成 13 年 3 月 29 日 / 修士 / I

東京大学大学院・工学系研究科・社会基盤工学専攻・柴崎研究室

稲葉和久 / 世界遺産のための 3 次元デジタルアーカイビングシステムの構築手法 / 平成 13 年 3 月 / 修士 / II

小西勇介 / 自律方式による歩行者用ポジショニングシステムの開発 / 平成 13 年 3 月 / 修士 / II

東京大学大学院・新領域創成科学研究科・柴崎研究室

賀川義昭 / スリーラインスキャナとレーザーสキャナを併用した三次元都市空間データの自動構築に関する研究 / 平成 13 年 3 月 / 修士 / II

神山清雄 / 企業における環境情報開示の普及可能性に関する研究 / 平成 13 年 3 月 / 修士 / II

東京大学大学院・新領域創成科学研究科・環境学専攻・国際環境基盤学大講座

荻田 聡 / 社会基盤システムの維持管理費用分析 - 道路舗装を事例として / 平成 13 年 3 月 / 修士 / II

藤井夕貴子 / 環境影響評価における住民関与形態 - 事業者の意思決定段階での曖昧さを考慮して - / 平成 13 年 3 月 / 修士 / I

谷川喜祥 / 企業の環境経営における組織評価 / 平成 13 年 3 月 / 修士 / II

蓑輪尚毅 / 外部性を考慮した路上工事のあり方に関する研究 / 平成 13 年 3 月 / 修士 / II

東京工業大学・工学部・土木工学科・上田孝行研究室

上杉友一 / 不完全雇用下における社会資本投資の経済効果 / 平成 13 年 3 月 / 学士 / I

下村剛史 / 経済成長モデルによる国際間環境問題の政策分析 / 平成 13 年 3 月 / 学士 / I

東京工業大学・工学部・開発システム工学科・上田孝行研究室

小林祐樹 / 危険施設の立地に関する便益帰着分析 / 平成 13 年 3 月 / 学士 / I

東京工業大学大学院・総合理工学研究科・人間環境システム専攻

内田智也 / 心理的負担指標を用いたドライバーの道路走行環境の分析 / 平成13年3月26日 / 修士 / II

光畑 太 / 市民の環境価値意識を組み込んだSPM削減交通施策評価システムの構築 / 平成13年3月26日 / 修士 / II

東京工業大学大学院・総合理工学研究科・人間環境システム専攻・黒川研究室

池田 恩 / 公共地下歩道整備におけるPFI事業成立可能性に関する研究 - 静岡駅北口駅前広場整備事業を例として - / 平成13年3月26日 / 修士 / I

石神孝裕 / ニュータウンにおける人口変動推計と住戸供給計画に関する研究 / 平成13年3月26日 / 修士 / II

伊藤文善 / 地方中小都市における中心部商業衰退の要因に関する研究 / 平成13年3月26日 / 修士 / I

西川 亮 / 建築基準法の場合と面的事業導入の場合の密集市街地整備の比較分析 - 世田谷区北沢3・4丁目を対象として - / 平成13年3月26日 / 修士 / II

東京工業大学大学院・理工学研究科・土木工学専攻

田村信吾 / 個人の生活に対するニーズに着目したアクティビティ分析 / 平成13年3月26日 / 修士 / I

東京工業大学大学院・理工学研究科・国際開発工学専攻

三室 徹 / 走行支援システム評価を目的とした高速道路ランプ合流部のミクロ交通流シミュレーションシステムの開発 / 平成13年3月26日 / 修士 / I

東京工業大学大学院・理工学研究科・国際開発工学専攻・上田孝行研究室

玉置 郁 / 確立過程から見たプロジェクト評価に関する研究 / 平成13年3月 / 修士 / II

東京都立大学大学院・工学研究科・土木工学専攻

金子哲也 / 室内実験手法を用いた追従運転挙動特性に関する研究 / 平成13年3月26日 / 修士 / I

山岡 努 / 個別車両データを用いた高速道路単路部渋滞の検出方法に関する研究 / 平成13年3月26日 / 修士 / II

中村寛之 / 信号交差点流入部の飽和交通流率に及ぼす車線幅員縮小化の影響に関する研究 / 平成13年3月26日 / 修士 / I

東北大学・工学部・土木工学科・地域計画学研究室

石川崇之 / 企業会計的手法を用いた公共事業遅延の評価手法 / 平成13年3月27日 / 学士 / II

下村直己 / 将来自動車交通所要時間の時間帯別予測 / 平成13年3月27日 / 学士 / II

鈴木英二郎 / 土地利用状況に着目した交通に起因する外部費用の計測 / 平成13年3月24日 / 学士 / II

高畑 崇 / 社会資本整備に用いられる一般財源の世代間費用分担分析 / 平成13年3月24日 / 学士 / II

東北大学大学院・工学研究科・土木工学専攻・地域計画学研究室

Hector Antonio Paez Robles Martinez / Applied Statistical Analysis of Detailed Geographical Data with Emphasis on Spatial Effects / 平成12年9月 / 博士 / III

北詰恵一 / 都市交通基盤の便益および費用の時空間分布計測 / 平成13年3月14日 / 博士 / III

鈴木純也 / 土地利用計量分析における分析単位の空間効果と配分モデル / 平成13年3月27日 / 修士 / II

山田絵里 / 東アジアにおける交通ネットワークとアクセシビリティ分析 / 平成13年3月27日 / 修士 / II

東北大学大学院・情報科学研究科・人間社会情報科学専攻・空間計画科学研究室

加河茂美 / ハイブリッド型 SNA 産業関連モデルに基づくエルギー利用構造の分解分析 / 平成 13 年 3 月 / 博士 / I

崇 治 / 輸送費用最小化に基づく広域物流拠点の適正配置及び規模の推定 / 平成 13 年 3 月 / 修士 / I

菊地竜也 / SCM による建設プロジェクト在庫削減効果の検討 / 平成 13 年 3 月 / 修士 / I

佐藤裕治 / リスクを考慮したハブ and スポークネットワークのフレーター投入量評価 / 平成 13 年 3 月 / 修士 / I

東北大学大学院・情報科学研究科・人間社会情報科学専攻・地域計画学研究室

渡辺英彦 / 広幅員歩行者通路の交通流動シミュレーション / 平成 13 年 3 月 27 日 / 修士 / II

名古屋大学大学院・工学研究科・地圏環境工学専攻・中村研究室

彦坂崇夫 / 高速道路単路部における交通状況と事故率との統計的分析 / 平成 13 年 3 月 / 学士 / II

櫻井淳史 / 都心部における買物交通を対象とした駐車場所誘導効果のモデル分析 / 平成 13 年 3 月 / 学士 / II

絹田裕一 / 都心商業街区におけるアクセス性と移動性の変化に伴う買物客の目的地選択行動分析 / 平成 13 年 3 月 / 修士 / II

田中大樹 / 観光地における総合交通施策評価のための利用交通手段と観光周遊行動のモデル分析 / 平成 13 年 3 月 / 修士 / II

鈴木弘司 / シミュレーションモデルを用いた高速道路単路部における交通流制御施策の評価 / 平成 13 年 3 月 / 修士 / II

日本大学大学院・理工学研究科・交通土木工学専攻・交通システム研究室

金子雄一郎 / 都市交通政策評価のための均衡分析手法の構築と適用 - パンコク首都圏を対象として - / 平成 13 年 3 月 25 日 / 博士 / II

室蘭工業大学大学院・工学研究科・建設工学専攻・プロジェクト評価研究室

村山亜寿夏 / 保険支払形態型 CVM による道路網のリダンダンシー評価 / 平成 13 年 3 月 23 日 / 修士 / I

宮西健司 / ITS が地域に与えるダイナミズム - 地域 ITS による観光誘発を事例として - / 平成 13 年 3 月 23 日 / 修士 / I

山梨大学大学院・工学研究科・土木環境工学専攻・花岡研究室

小林三千宏 / 地方都市の中心地域と周辺地域におけるバス交通の利用促進に関する研究 / 平成 13 年 3 月 23 日 / 修士

稲崎昇一 / 親自然型ライフスタイル像に関する研究 / 平成 13 年 3 月 23 日 / 修士

横浜国立大学大学院・工学研究科・計画建設学専攻・交通研究室

猪俣 肇 / 交通事故対策の効果評価方法に関する研究 / 平成 13 年 3 月 27 日 / 修士 / II

沖中聡志 / 回遊行動を考慮した駅前地区活性度評価に関する研究 / 平成 13 年 3 月 27 日 / 修士 / II

熊井 大 / 交差点処理方法が歩行者の横断挙動に与える影響に関する研究 / 平成 13 年 3 月 27 日 / 修士 / II

竹内龍介 / 駅前広場バス乗降施設運用代替案評価に関する研究 / 平成 13 年 3 月 27 日 / 修士 / II

2001年5月 定例研究会

日時：平成13年5月18日(金)15時～17時

場所：計画・交通研究会会議室

演題：『沖縄の高速道路整備状況-----沖縄サミットに向けた整備-----』

講演概要

沖縄サミットに対する日本道路公団の対応計画とその実施状況、サミット時のエピソードを交えて照会する。また、沖縄で開催されたことについての意義についても考察したい。講演はパワーポイントのスライドにより実施

講師：(株)アスウェイ 顧問 増田 典行 様
講師プロフィール

1972年 名古屋大学大学院土木工学専攻修了。
日本道路公団に入社。

主として道路計画、工務部門を担当。

1979年 ミシガン大学より MSE 取得。

1980年より1982年まで沖縄建設所勤務、米軍基地返還交渉、インターチェンジ設計等を担当。

1983年～2001年

JICA専門家としてタイ王国運輸通信省道路局勤務、京都工事事務所長、(財)国際建設技術協会・研究第一部長、札幌管理事務所長、(財)高速道路技術センター・情報システム部長を歴任。九州沖縄サミット開催に伴い、九州支社・サミット対策本部副本部長(沖縄駐在)としてサミット対策の現地指揮をとる。

2001年 (株)アスウェイ 顧問に就任し現在に至る。

司会：東京工業大学名誉教授・当て塾塾長
鈴木忠義 先生

2001年6月 定例研究会

平成13年6月20日(水)16時～18時

場所：計画・交通研究会会議室

演題：『EV導入社会実験の取り組みと展望-----屋久島、横浜、2つの事例から-----』

講師：中央大学理工学部 教授
鹿島 茂 先生

講演概要等は追ってお知らせいたします

2001年7月 定例研究会

日時：平成13年7月12日(木)15時～17時

場所：計画・交通研究会会議室

演題：『当て塾を開いて-----地域づくりへのひとつの試み-----』

講師：当て塾塾長、東京工業大学名誉教授
鈴木 忠義 先生

講演の背景

バブル経済崩壊後、長期化する不況から抜け出られず、人口も少子化・超高齢化時代を迎え国の活力がますます衰退していくのではないかと危機感が蔓延し、21世紀を迎えても明るい展望が見えない。特に地方では高齢化・過疎化が進行しつつあり、いかにして地域を活性化するかが大きな課題である。

これから地域づくりに求められるのは、その地に合った個性を持った計画でなければならない。地域の情報とその評価を尊重し地域づくり・まちづくりを考える必要がある。そのためにはその地域を熟知している地元の人々によって作られた計画こそが、他の地域と競争できる個性を持った計画になる。講師の鈴木忠義先生は地域に密着した「現場立地」「現場主義」を抜く姿勢をととても大切にしておられ、自ら黒磯の地においてそれを実践したいと「当て塾」を開かれた。

2001年7月 視察会

日時：平成13年7月17日(火)10時～13時30分

場所：品川駅改築工事現場(品川駅東口土地区画整理事業を含む)

お世話頂く会社：東海旅客鉄道株式会社
建設工事部

視察行程(素案)

10:00～10:30 会議室にて概要説明

10:30～12:30 現場視察

12:30～13:30 会議室にて質問・意見交換/食事

参加費：無料

本視察会は4月24日開催の総会にて中村会長発案のものを企画。中村会長も出席の予定。詳細は別途ご案内いたします。

役員等人事異動

敬称略

新任

理事・事務局長 窪田陽一(埼玉大学 教授)
 幹事・事務局次長 福田 敦(日本大学 助教授)
 幹事 天野光一(日本大学 教授)

退任

顧問 井上 孝(東京大学名誉教授)
 事務局長 石田東生(筑波大学 教授)
 幹事 家田 仁(東京大学 教授)
 同 窪田陽一(埼玉大学 教授)
 同 林 良嗣(名古屋大学 教授)

会議室等の御利用について

当研究会の会議室、応接室をご利用下さい。
 定例研究会や個別研究会の開催時以外は部屋が空いています。会員の皆様はお気軽にご利用下さい。個別研究会等で会議室を御利用になる場合は、取りあえずお電話を下さい。

会議用にはOHP、スライド(Kodak)、液晶プロジェクター(APTi)が有ります。

個別に利用できるデスクがあります。貸し出し用ノート型パソコン(IBM Think Pad) FAX、電話、コピー、E-mailもご利用いただけます。

個別懇談会のお申し込み

会員各位個別の研究やプロジェクト等につきまして、当会のフェロー会員・個人会員(地域的

にも研究部門の面でも多彩な教授・助教授がおられます。既送の会員名簿を御参照下さい)が個別に御相談・懇談に応じます。ご希望により日時を調整しますので、事務局まで遠慮なくご相談下さい。出来れば具体的な研究課題・プロジェクト内容と、希望されるフェロー会員・個人会員のお名前をご連絡下さい。

原稿の募集

会報に掲載する下記の原稿を募集します。

・Publication/Documents: 刊行物・文献資料。体裁は本号4ページを御参照下さい。

・Announcement: 研究会・催事の御案内
 会員による講演会等の御案内も随時掲載します。日時・会場・事務局等を明記願います。

・Report: 報告
 海外研修報告、国際会議参加報告等
 原稿執筆上のご注意

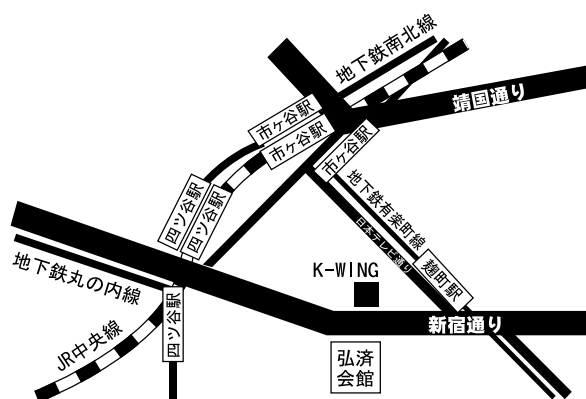
原稿のテキストファイルを電子メール(推奨。本文挿入または添付ファイルで)あるいは3.5インチのフロッピーディスクでお送り下さい。ワードプロセッサを使用される場合は、MS-Word形式もしくは一太郎形式で文書ファイルを保存して下さい。2ページ以上に及ぶ場合は御相談下さい。

編集の都合上、400字を1単位としてその整数倍(上限4単位=1ページ分:表題・図表を含む)になるように調整して下さい。2ページ以上に及ぶ場合は御相談下さい。

計画・交通研究会

会長 中村 英夫
 副会長 黒川 洸
 副会長 森地 茂
 事務局長 窪田 陽一
 会報編集委員長 天野光一
 会報編集責任者 橋本 昭夫

〒102-0083
 東京都千代田区麹町 5-2-1 K-WING 6F
 TEL=03-3265-1774
 FAX=03-3221-5489
 E-mail = easts@sa2.so-net.ne.jp
 Homepage = http://www06.u-page.so-net.ne.jp/sa2/easts/



計画・交通研究会案内図

交通

JR中央線四谷駅下車徒歩5分 / 営団地下鉄丸の内線四ツ谷駅下車徒歩5分 / 営団地下鉄南北線四ツ谷駅下車徒歩6分 / 営団地下鉄有楽町線麹町駅下車徒歩4分